

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。
 CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
 放送日時：9月11日～10月10日 9:00・20:30

○四日市公害の漫画を描く～人との出会いから～

環境問題に特に興味を持って
 いるわけではなかったのですが、2年前にテレビで四日市公害のドキュメンタリー番組を見たとき、私が知らなかった四日市公害のさまざまな事実に引き込まれました。

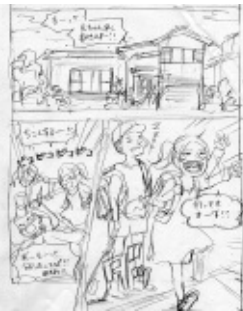
その後、四日市公害を経験したさまざまな立場の人たちの話を聞き、そうした人の感情に触れる中で、心が震えるような瞬間が何度もありました。

そして、これまで市外の人に四日市公害のことを聞かれたとき、当時の人たちの苦しみや葛藤など何も知らずに、「公害は昔のことで今は大丈夫」と言っていた自分にショックを受けました。

私の好きな地元四日市の今の自然は、公害裁判をはじめ、さまざまな人々の努力の上に成り立っており、あって当たり前ものではありません。このことを意識せずに暮らしていたら、今の自然を持続していけないのではと感じ、次世代の子どもたちにも今の風景を見せてあげたいと思いました。「いつか四日市公害の漫画を描きたい」という気持ちがありましたが、公害の重みを考えると、簡単には描けないし、失礼に当たるのではないかとも思っていました。でも、当時を経験した人たちは高齢化していますし、その人た



作成中の四日市公害の漫画「ソラノイトー少女をおそった灰色の空」



ちが、今も声をからしながら当時のことを伝えようとする姿を見たら、「もう話が聞けなくなるかもしれない」、「漫画を描くのは今しかない」と思うようになりました。

えりこ 矢田恵梨子さん

小学館第76回新人コミック大賞 青年部門入選受賞など、漫画家として今後の活躍が期待される矢田恵梨子さんにお話を聞きました。

矢田さんは今回、四日市公害の漫画を描き、漫画は9月26日に開催される公害犠牲者合同慰霊祭(※)で披露される予定です。
 ※慰霊祭については広報よっかいち8月下旬18ページに掲載しています。



「真夏の電柱少年」で受賞し、作品が月刊スピリッツ9月号に掲載されました。

○よく知った上で大丈夫と言いたい

漫画の内容は、公害によるぜんそくの発作が引き起こした心臓麻痺によって9歳で亡くなった女の子を主人公に、当時の



人たちの感情や日常を描いています。この漫画は、子どもたちや四日市公害に関心のない人に見てほしいですね。漫画を通して、例えば主人公と同じ年齢の娘がいるなど、読者の皆さんが自分との接点を見つけて共感し、四日市公害に関心を持ってもらえればと思います。

そして、「四日市公害をよく知った上で今は大丈夫と言いたい」という思いを、私だけでなく、みんなで共有できたらと思います。

○心を揺さぶる漫画

私の漫画を描く原点は、自分で足を運んで見たことを大事にして、伝えたいことを描きたいという気持ちです。一方的に伝えて終わりではなく、人の心に伝わり届くもの、人の心を揺さぶるような漫画を目指したいと思っています。

『こんなとき、どうすれば?』
まずは一度ご相談ください!

交通事故
 保険会社の提示にそのままはんこ押していいのでしょうか?

離婚
 本人同士では感情的になってしまい話し合いができません

借金
 ずっと返済をしているのに全然借金が減りません

その他
 貸金、建物明渡し、法律顧問などなど

相続
 遺産分割のことで親族間でもめており、気が重いです

お一人お一人、私が丁寧に対応します!

《予約制》 ☎ **059-350-2080**

お気軽にお電話ください!

尾市法律事務所
 弁護士 尾市淳二 (三重弁護士会所属)

(財)日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士 四日市市浜田町5番27号第3加藤ビル5F (1FはJT6が入ったビル)

近鉄四日市駅から
 徒歩1分!
 徒歩1分! (東口) 徒歩1分!

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。